

No	感染症(PT)	出典	概要
451	梅毒	Public Health Agency of Canada/Infectious Diseases News Brief 2007年1月19日	中国は1960～1980年の20年間に梅毒を減少させることができたが、中国社会の本質的な変化により、性伝染病が再び流行している。中国における報告された梅毒の全症例発生率は、1993年には100,000人あたり0.2例であったが、2005年には、第一期及び第二期梅毒だけで100,000人あたり5.7例であった。先天的な梅毒の発生率は、1991年は100,000例の出生児あたり0.01症例であったが、2005年には100,000例の出生児あたり19.68症例まで、年平均71.9%の割合で大きく増加した。
452	麻疹	asahi.com 2007年4月18日	東京都や埼玉県など関東地方ではしかが流行していることが、国立感染症研究所感染症情報センターがまとめた定点調査でわかった。例年より流行は早く、人の移動が活発になる連休に向けてさらに広がることが予想されるとして、同センターは緊急情報を出して注意を呼びかけている。同センターによると、例年、はしかの発症は乳幼児に多いが、今年の流行は10代前半や大人に多いのが特徴という。
453	野兔病	http://www.abqtrib.com/news/2007/jun/20/university-new-mexicoexperts-warning-rashrodents/	米国ニューメキシコ州において、ウサギを含むげっ歯類が急増したため、げっ歯類を宿主とする疫病の危険性が上昇している。野兔病の感染拡大がウサギの大量死に繋がっている。さらにSanta FeやBernalilloを含むいくつかの郡でウサギの死亡があり、7つの郡でイヌやネコにおいて野兔病の陽性反応が確認された。
454	野兔病	Star-Tribune 2006年10月31日	米国Wyoming周辺で野兔病のアウトブレイクが数件あり、州保健当局はハンターとリクリエーションに注意を喚起した。Wyomingでは今年2人が野兔病に感染した。1例はネコに手を噛まれた女性である。ネコは病気のウサギを噛んで感染したと思われる。
455	野兔病	Yahoo!ニュース 2008年3月4日、千葉県健康福祉部疾病対策課 感染症発生情報 平成20年3月4日	2008年1月30日、千葉県で74歳男性が野ウサギ食べようと調理したところ、2月7日頃から発熱した。2月29日に医療機関から野兔病の発症例として地元保健所に報告された。患者は既に回復している。また、野ウサギを提供した知人および患者家族の健康に異常はない。国立感染症研究所によると、野兔病は1994年までに1372例の患者が報告されていたが、その後減少し、1999年の千葉県での1例以降報告されていない。